

こんぶくろ池通信

NPO 法人こんぶくろ池自然の森
Tel: 04-7132-8800
Fax: 04-7132-8806
Email: info@konbukuroike.com
URL: http://www.konbukuroike.com

2023年7月

第111号

主な予定

7月15日(土)

15:30~

プロジェクト未来遺産登録
証伝達式

於：柏市役所

7月22日(土)

19:00~21:00

夜の昆虫観察会

9月3日(日)

15:20~15:40

ユネスコ活動研究会

於：青山学院大学

9月5日(火)

10:00~11:30

14:00~15:30

カシニワウォーク

標本展

2023年6月23日(金)~25日(日) 於：UDCK

副理事長 上田 真佐江

柏の葉キャンパス駅の前にあるUDCK(柏の葉アーバンデザインセンター)で「標本展」を開催しました。昨年5月に同会場で開催した「こん虫展」では昆虫標本と生きている虫を展示し、顕微鏡コーナーも設けて好評をいただきました。「標本展」では昨年度の展示に植物標本を加え、園内で撮影した写真を連続放映。天井が高く自然光が注ぐ前面ガラス張りの会場には、UDCK様のお取り計らいで鳥の音が流れ、森の雰囲気が出されました。



展示標本について

標本は、「植物相」、「昆虫相」の証拠となる貴重な資料です。「標本展」は多様な生物を同時に観察することができる機会となりました。

【植物標本】

産官学民で構成された「こんぶくろ池公園環境創造会議」により、2005年に公園整備基本計画策定調査報告書「市民で育てる100年の森・こんぶくろ池自然博物公園」がまとめられると、2006年には、植物相を調べ記録するため、市民による植物標本づくりが始まりました。「NPO法人こんぶくろ池自然の森」が設立されたのは、その後の2010年です。

現在その数は476種に及びます。会場に32枚を展示しました。

【昆虫標本】

こんぶくろ池自然博物公園で2018年2019年の2年間にわたり千葉県昆虫談話会による昆虫相調査を実施しました。千葉県昆虫談話会は、各所からの依頼を受け、東京大学千葉演習林、高岩山周辺地域、千葉県立房総の

むらで昆虫相調査を行った団体です。

2年間にわたる昆虫相調査の結果、15目250科1,786種が確認されました。千葉県レッドリストで保護対象とされる410種の約1割に当たる39種が確認されており、また、孤立した環境の蛾相との共通性も示唆されました。国内初記録種も見つかっています。千葉県昆虫談話会のご厚意により、同定作業のために採集された昆虫標本から11

目 127 科 556 種 1016 頭（予備含め 1172 頭）が、NPO 法人こんぶくろ池自然の森へ寄贈されました。会場には、寄贈された 1016 頭の昆虫標本を展示しました。

来場者アンケートより

会場ではアンケートを実施し、多くの来場者様にご記入いただきました。アンケート結果を記すことで、標本展の様子をご報告します。

【ご感想】

- ・ 標本の美しさ、丁寧さに今まで長きに渡る活動の重み、深みを考えさせられました。また、虫や植物に注目して訪れたいと思います（30～40代）
- ・ このような自然は大切にしたいですね。発展と保存のバランス…考えていきたいです。ありがとうございます。（50～60代）
- ・ とても楽しかったです。近所にこんな場所があることを誇りに思いました。大切に管理されている皆様に感謝しました。また機会があれば開催していただきたいです。丁寧なご説明ありがとうございます。（小学生以下・中学生～20代・30～40代）
- ・ 色々な標本が興味深かったです。こんぶくろ池は何度行っても癒されます。（30代～40代）



顕微鏡コーナー



生きている虫のコーナー
会期中にナナフシモドキが脱皮！



会場前での昆虫採集体験

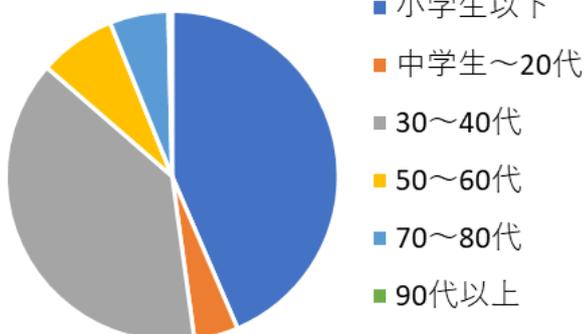
- ・ とてもたくさんの方の標本や顕微鏡体験があり、子供も親も楽しめました。もっとやってほしい！と思いました。（小学生以下、30～40代）

- ・ たくさんの昆虫や植物を見ることができて、勉強になりました。あんなに小さなテントウムシは知りませんでした。（小学生以下、30～40代）
- ・ ナナフシモドキが脱皮するとあんなに大きくなるとは知りませんでした。普段マジマジと見られない昆虫や植物をまじかで見ることができて面白かったです。（中学生～20代）
- ・ 植物好きな子供と一緒に楽しめました。今日見た花を実際に探しに行きたいです。（小学生以下、30～40代）

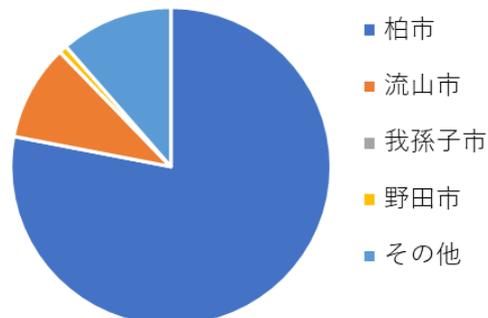
【年齢層、住所別、情報源、来園回数の集計結果】

アンケート記入者のみを集計した来場者数は280名。昨年のこん虫展よりも期間が約半日短かったにもかかわらず、昨年の232名を上回りました。要因としては、街の人口増加、現在NHKで放映中の、植物学者牧野富太郎氏をモデルとしたNHK朝ドラ「らんまん」の人気もあると考えられますが、日本ユネスコ協会連盟の「プロジェクト未来遺産」にNPO法人こんぶくろ池自然の森の活動が登録されたという新聞記事を読んだ方もおられました。また会場では、昨年来たとの声も聞かれ、昨年楽しんだ方が再度来場されていることも実感しました。

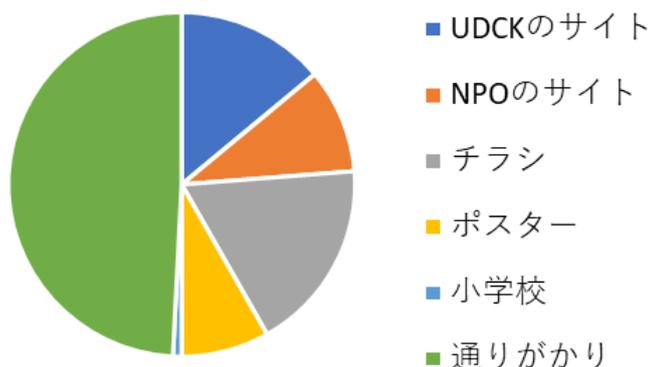
年齢層



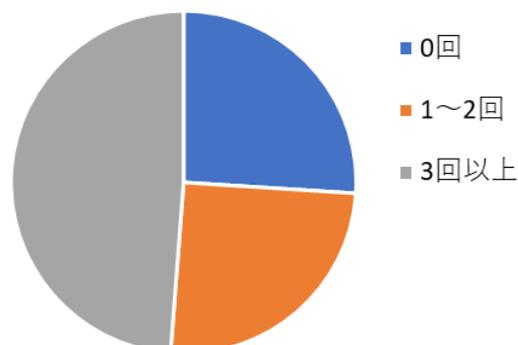
住所別



情報源



こんぶくろ池自然博物公園来園回数



年齢層は、小学生以下のお子様と 30～40 代の親子連れが 83%、柏市在住者が 78%を占めていました。情報源は、49%が通りがかりであり、UDCK の立地の良さに助けられて、多くの方々に標本をご覧いただけた事が推察されます。

来場者の 26%が来園回数 0 回だったことから、まだこんぶくろ池自然博物公園に行った事が無い方々にも、標本展が、身近にある自然を紹介できる良い機会になったことがわかりました。

最後になりますが、ご来場者の皆様、アンケートにご記入いただいた皆様、会場の演出にまでご配慮いただいた共催者 UDCK 様、時間を割いてシフトに入りともに標本展をつくりあげたスタッフの皆様、ありがとうございました。

キツネアザミ

橋本谷 弘司



キツネアザミ

キツネが付く植物には、キツネアザミ、キツネノカミソリ、キツネノマゴ、キツネノボタン、キツネヤナギ、キツネガヤ、キツネユリなどがあります。

当園には、キツネアザミ、キツネノカミソリ、キツネノマゴの 3 種類が確認されています。

キツネアザミの名前の由来は、植物学者・牧野富太郎によると『アザミに似るがよく見るとそうでなくて「狐に騙されたよう」に感じるから』と書いています。

微生物学者・中村浩の説は、花の形が、狐などの毛を束にした眉を掃く化粧道具に似ていたので、江戸時代にはキツネノマユハケやマユハケアザミなどと呼ばれていたことが名前の由来であるとのことでした。

昔から狐と狸の化かし合いという言葉がありますので、片方のタヌキについても調べて見ました。

タヌキノカミソリ、タヌキノショクダイ、タヌキマメ、タヌキランなどがありますが、残念ながら私は見たことが無いものばかりです。

しかし、これらの名前は和名と言って日本だけでしか通用しません。世界で通用するのは学名です。

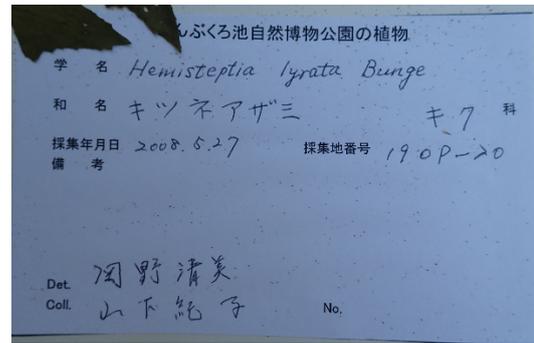
学名はラテン語で表記します。18 世紀にスウェーデンの植物学者リンネがラテン語の属名と種小名を組み合わせ、固有の種を表す分類法を考案し、それが引き継がれているからです。

植物の新種については、論文を書きそれが認められる必要があります。

牧野富太郎は 600 種類余りの新種を発見しています。



キツネアザミの標本



キツネアザミの標本ラベル

6 月理事会

(日時) 2023 年 7 月 4 日 (火) 9:30~12:30 ※

(場所) 管理棟

(出席者) 議長 (理事長) : 萩原

出席者 (理事) 中川・上田・徳永 (書記)

(会計) 山上・(顧問) 岡本・(監事) 松田

※ 予定していた 6/25(日)が、標本展と重なった為、この日となった。

1. 審議検討・確認事項

(1) (7/15(土)) 「プロジェクト未来遺産 2022」の登録伝達式について

- ・ 出席予定者数は、NPO 関係 34 名、柏ユネスコ協会 4 名、柏市里山ネットワーク数名の約 40 名 (7/1 現在)
- ・ 引き続き声掛けをする。
- ・ 当日運営や役割分担他について確認した。
- ・ 地域新聞社、東葛毎日新聞社、読売新聞社が取材の為来場予定 (7/4 現在)

(2) 第 1 四半期末報告について

- ・ 試算表の確認
- ・ 予算、勘定科目、繰越金の考え方
- ・ チルホールの購入について検討、了承された。

(3) (7/22(土)予定) 夜の昆虫観察会の準備状況について

- ・ 準備状況についての情報共有化
- ・ 7/16(日)の活動後に、発電機を含め、ライトトラップの確認、園路の検討及び下見を行う。

(4) 11 月実施予定のワークショップイベントの開催について

- ・ 銘板づくりの参考として、松戸 21 世紀の森にて開催されるリ

トカルのイベントを見学予定。1回目→7/25(火) 2回目→8/8(火)

- ・ 開催場所は、関係を継続させる為にも T-Site を検討。会場が空いていれば 11/26(日)を検討。
- (5) 「千葉県公式観光サイト」への当園情報掲載について
 - ・ 掲載情報は、先ずは「GOGO 房総デジタルポイントキャンペーン (2023/9~2024/2) にて使用される見込み。
 - ・ リード文 (キャッチコピー) については、千葉県に使用目的を問い合わせ後、検討。
 - ・ 提出用写真は、池 2 枚、人物を含む活動の様子 3 枚、植物 2 枚、昆虫 2 枚、野鳥 1 枚を選出。
- (6) 11 月実施予定の「里山の保全活動体験会」の実施日について
 - ・ 広報かしわの配布方法が「毎月 1 回 1 日に宅配」に変更となった。
 - ・ 体験会を 10/22(日)、11/4(土)、11/19(日)の計 3 回とし、広報 10/1 号に掲載する。
- (7) 今年度のチェーンソー、刈払機講習会対応について
 - ・ 今年度は柏市里山ネットワーク主催の講習会は実施せず。
 - ・ 日本キャタピラー等の民間が実施する講習会に参加する場合、柏市みどりの基金、及び柏市里山ネットワークよりの助成あり。残りは自己負担となる旨、会員には予めアナウンスをする。
- (8) (6/23~25) 標本展示会の開催結果報告
 - ・ アンケート集計の結果、昨年「こん虫展」より多い 280 名の来場があり、大変盛況であった。
 - ・ 準備段階で、少人数に負担がかかる場面もあったので、次回への反省としたい。
- (9) 7~8 月活動計画
 - ・ 6 月末に会員宛にメールリストにて連絡済
- (10) 7 月の通信記事
 - ・ 掲載記事について協議した。

2. 報告事項

(1) 調査

- ① 東大久保田先生トラップ調査補助 (1 回目: 6/16 & 17)

(2) 園内ガイド

- ① 柏第七小学校 (139 名) (6/7 9:50~10:40) (岡本・徳永・橋本谷・辻村・平岩)
- ② 増尾西小学校 (88 名) (6/7 14:05~14:55) (徳永・辻村・岡本)
- ③ 土小学校 (39 名) (6/8 9:10~10:00) (岡本・辻村)
- ④ 松葉第一小学校 (159 名) (6/9 8:50~9:50) (徳永・岡本・橋本谷・川瀬・中野)
- ⑤ 柏第二小学校 (89 名) (6/19 9:40~10:20) (上田・平岩・酒井 (英)・中川)

- ⑥ 高田小学校 (72 名) (6/23 13:15~14:20) (川瀬・中野・酒井 (英)・中川)
- ⑦ 日本植物友の会 (20 名) (6/26 下見実施 2 名、7/2 11:00~15:00) (橋本谷)
- ⑧ 柏第五小学校 (約 165 名) (7/3 12:45~13:45) (岡本・上田・橋本谷・中野・中川)

(3) その他

- ① 6/15 (木) そごう千葉店にて開催の選定セレモニーで、萩原理事長が熊谷千葉県知事より選定証の交付を受ける。
- ② 柏市里山ネットワーク令和 5 年度第 1 回交流会 (6/27)
- ③ 東大 佐藤先生指導による水環境に関する大学生実習 (6/3~7 月上旬)
- ④ 「プロジェクト未来遺産」登録証伝達式関連
 - ・ 6/26 13:30~15:00 太田柏市長視察前の下見で都市部小川理事以下 4 名来園
 - ・ 6/29 13:30~13:50 頃 太田市長、公園視察
- ⑤ 11 番園路沿いのコナラの洞にできたモンズズメバチの巣については、移動させることで確認。
移動させた後の洞の処理も併せて、会員の小川氏に相談、依頼する。尚、スズメバチの巣に対する決め事を文言化することについて、今後検討する。

理事会の議事録は管理棟のファイルにて確認できます。

新入会員紹介

野上 正雄さん



参加動機：自然豊かな森を整備したいです。

貢献できそうなこと：公園整備、機械・電気・工具のメンテナンス (木工建具職の経験あり)

趣味・好きなこと：カメラ

取り組んでみたいこと・分野：薪割り、駐車場の車止め垣根の刈り込み・整備、刃物研ぎ (ソーチェーン、包丁、カミソリ、カンナ等)